

これまでの経過について

7月31日(日)

午後1時20分：指導課指導主事 砂川小プールへ

午後1時45分～55分：第1回休憩

全員プールサイドへ 管理者がプールを目視

午後1時55分：第2回入水

プール監視員が遊泳者からの依頼でロッカーキーベルトの修理のため、プールサイドから管理室へ移動(この間、プールサイドに監視員は不在)

遊泳者がうつ伏せで沈んでいた児童を引き上げた

午後1時59分：消防へ通報(監視員より)

心肺停止状態であり、管理者が人工呼吸の措置を行なう

午後2時04分：救急車現地到着

AED措置も行なう

午後2時11分：救急車がプールを出発

午後2時18分：消防から指導課課長に連絡が入る(保護者連絡先を知りたい)

午後2時22分：救急車が泉州救急救命センター到着

このころ、友人の保護者から児童の母親へ連絡が入る

指導課課長から教育委員会と教育長、砂川小学校校長へ連絡

午後2時31分：ダイショウコーポレーション社長から教育総務課主任へ事故の一報が入り、主任から教育総務課課長へ報告した

午後2時37分：泉南警察署より到着

午後2時40分：消防署警備第2課より教育委員会へ

砂川小プールで心肺停止状態の子どもを泉佐野の泉州救急救命センターへ搬送したとの連絡が入る

午後2時50分：指導課指導主事 砂川小プールの閉鎖、警察の捜査協力のため砂川小へ同じころ教育総務課主任が教育総務課長の指示で教育委員会へ到着し砂川小へ

午後3時20分：消防より連絡

砂川小1年の児童と判明、保護者と連絡はとれていると

心臓は動き出したが、自立呼吸はなし、意識不明の状態とのこと

教育部次長から教育長、教育部部長に状況入れる

午後4時05分：指導課課長が救急救命センターへ

午後5時35分：泉南警察署より報道発表について連絡

午後8時20分：泉南警察署より一緒にプールに行った児童から話を聞きたいので協力依頼
砂川小学校校長に連絡し、校長から泉南警察署へ児童の情報を伝えてもらう

午後8時50分：教育部部長、教育部次長で救急救命センターへ
保護者（母親）への謝罪を行なう
府警から2名の捜査員が保護者（母親）と教育委員会へ聞き取り

8月1日（月）

午前0時：打ち合わせ

教育長、教育部部長、教育部次長、教育総務課課長、指導課課長、学務課課長
これまでの経過を確認

午前0時15分：泉南警察署より報道発表した旨連絡が入る

事故に遭った児童名、監視の委託会社名は口答で
溺れたのではと思うが目撃者はないので、発生状況がわからない
助けてくれた人がいる

午前7時55分：ニュースで児童の死亡報道が流れる

午前8時：泉南警察署へニュースの内容を確認 1日午前5時55分に死亡とのこと

午前8時05分：関係者へ連絡

教育長、教育部部長、教育総務課課長、指導課課長へ連絡、指導課課長から砂川小学校校
長へも伝えてもらう

その際、児童の身体測定の数値を確認

4月14日身体測定 身長111.4cm 体重16.8kg

6月の体重測定で16.9kg

学校として8月2日の登校日に向けコメントについて相談があった

午前8時20分：府教委児童生徒支援課指導主事より

（確認事項）

Q誰とプールへ行ったのか

A友達と二人で行った

Q泳いでいた状況、どのような状況で事故は起こったのか

A詳細は不明とのこと、休憩が終わり2回目の入水が始まって数分してプールに
沈んでいるところを引き上げたと聴いている

Q現状はどうなっているか

A今朝5時55分に亡くなった

Q今後の対応は

A事故を受けて対応を協議する

※市教育委員会支援として、本日は泉南市へ向かうとのこと

午前9時40分：砂川小学校校長より

保護者より児童の遺体が近大病院で司法解剖に付されることとなったことと、テレビ局が現場プールの撮影したいと言ってくるがどうしたらよいか

教育総務課へもプール撮影の話が数本入る

泉南警察署へプール撮影について問い合わせしたところ、現場検証が終了していないので立ち入らないで欲しいとのことで、問い合わせに対し各社にそう伝える

午前9時45分：打ち合わせ

教育長、教育部部長、教育部次長、教育総務課課長、指導課課長、学務課課長

- ・砂川小学校への対応：当日プールに来ていた児童、亡くなった児童の友人を中心にリストアップし、支援できるよう、スクールカウンセラー（SC）等を配置（指導課指導主事とSCで打ち合わせ）
- ・登校日に合わせて文書等の配布を行なう際の保護者の意向確認
- ・会見等の対応はどうか

午前10時35分：情報管理課より

新聞記者より、会見は何時開くのか

身長の問題、管理体制についての見解

同様に、テレビ局からも今回の事故の見解を求められた

午前11時20分：児童宅へ弔問（教育長、教育部部長、教育部次長）

今回の事故のお詫び、スクールカウンセラーの配置と登校日の対応についての説明

※会見について、情報管理課と協議し、午後7時より会見を行うことを決定し、午後4時頃に各社へ通知した

午後7時：記者会見

8月2日（火）

午前9時：保育子育て支援課課長より、児童の兄弟関係で、市内保育所在籍とのことで、家庭児童相談室との連携も含めて対応することで確認

午後3時50分：砂川小の保護者で最近プールの監視状況がひどく人数も少ないと言うこと話題になっていて、ある保護者が数日前に教育委員会へ監視について電話を入れたことを聞く

担当に確認を取ったところ、7月25日に電話を受け業者に指導したとのこと

午後6時：打ち合わせ

教育長、教育部部長、教育部次長、教育総務課課長、指導課課長、学務課課長
個別対応を避け定期的に会見を開くことも検討

8月3日（水）

午前9時50分：ダイショウコーポレーション社長から当日の監視体制についての聞き取り

当日、現場は120cmあったと判断した

プールサイドの配置について、大プールに1名小プールに1名いて、管理者が管理室の前にいたが、ロッカーキーベルトの修理で監視員が管理室へ入ったので、管理者がプールのそばまで寄っていった

午前11時40分：記者会見

教育部部長が会見

会見で管理者と監視員の位置関係がわかるよう、ダイショウコーポレーション社長に再度説明を求めた

午後0時45分：大阪府警より家宅捜査を受け、関係書類を押収される

午後3時15分：ダイショウコーポレーション社長が再度説明に来る

管理者に確認したところ、当初の話と違い、会社の指示が守られていなかったことが判明
2回目の遊泳開始時に1名監視員がいたが管理室にロッカーキーベルトの修理のために管理室に入ったため、事故当時、大プールサイドには監視員がいなかったことが判明
あわせて、これまでアルバイトを集めるのが困難で担当に相談していたこと、3～4年前から集めるのが厳しかったこと

午後4時：記者会見

事故当時大プールには監視員がいなかったことについて説明するも、ダイショウコーポレーション社長と教育委員会で一緒に会見に臨んで欲しいと要請を受ける

午後4時35分：ダイショウコーポレーション社長と協議

事故時の配置状況は話をするが、予算が年々減少する中でバイトを集めるのが苦しかったことを、教委に相談していたことも話せるのなら出席してもよいとのことであったので、「自由に話をすればよい」と答え出席が決まる

午後5時：記者会見

午後8時：児童の通夜に市長、教育委員長、教育長が参列

8月4日（木）

午前10時：児童の告別式に、教育委員長、教育長、教育部部長が参列

午後5時：臨時教育委員会が開催され、この間の経過報告を行なう